

The UNIFORM

内閣府認定 公益財団法人
日本ユニフォームセンター

NUC®

第56巻4号 通巻604

2024 秋号 *Autumn*

NUC® 公益事業報告



検疫官

水際で日本を守る検疫官の制服
22年ぶりにリニューアル



展示会情報2024/25秋冬シーズン
トピックス
万博トピックス
意識調査結果
セミナー報告
事務局ニュース

検疫官

水際で日本を守る検疫官の制服 22年ぶりにリニューアル

2024年4月、検疫官の新制服が着用開始となりました。海や空の玄関口である検疫所として、“水際で日本を守り、日本の第一印象を作る。”をコンセプトに、検疫官の皆さんを支える制服です。全面的なモデルチェンジは22年ぶりで、前回の改正に続き nuc のコンサルティングにて開発した検疫官の新制服をご紹介します。

ブラックを基調に、「シルバー×ゴールド」のエンブレムで正統派なデザインに

この度22年ぶりにリニューアルされた制服は、全国の高湾・空港の検疫所における検疫感染症等に対する検疫衛生業務などを担う検疫官が着用します。プロフェッショナルの威厳が感じられるブラックを基調とした重厚感のあるデザイン。

シルバーとゴールドを組み合わせたエンブレムが規律感や信頼感を高め、洗練された品格を感じさせるスタイルです。CIQ（税関・出入国管理・検疫）内での識別性が高く、検疫所の職員であることが一目瞭然となるよう意識しました。

機能性の高い素材を採用
独自性や検疫官らしさをプラス

合服は、高ストレッチかつ肌触りの良い快適性とホームクリーニングに耐えうる高強度を両立させた機能繊維を採用。

夏季上衣は、透けに配慮された糸を使用した凹凸感あるドビー組織を採用しました。通気性の高さと肌離れの良さが特徴です。検疫旗のカラーである黄色のラインが入った独自性の高いストライプ柄で、衿は第一釦を開けても着崩れにくいボタンダウンカラーを採用しました。

シンプルなデザインながらオリジナリティあるネクタイは、「QUARANTINE」の文字とロゴ入り仕様となっています。

海と空の玄関口で

国民の健康を守る 最前線。

厚生労働省
検疫官
採用募集

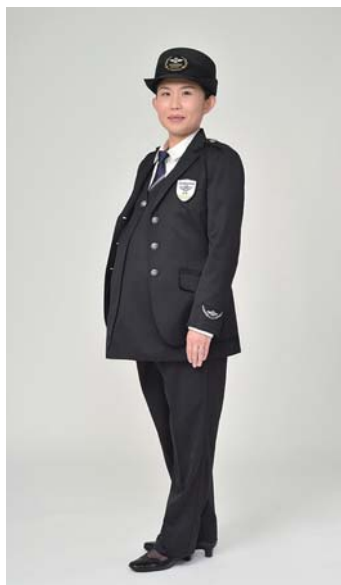
連絡先
厚生労働省
健康・生活衛生局感染症対策課
企画・検疫課検疫所管理室人事課人事・給与係
メールアドレス: keneki-jinji3@mhlw.go.jp
https://www.mhlw.go.jp/kouseioudoushou/saiyou/



▲ 長袖制服



▲ マタニティウェア（ジャンパースカート）



▲ マタニティウェア（ベスト）



▲ 胸章



▲ ネクタイ（結び型、ワンタッチ型）



▲ こども用の制服（左から100、120、140サイズ）



▲ 肩章、腕章



▲ ベルト（先端部にロゴ入り）

制帽は洗濯機で洗えるタイプの官帽と、ハイバック型の2種。男女問わずに官帽型を選択できるようになりました。

マタニティウェアは通常デザインに近いパンツとベストを組み合わせたスタイルと、身体を締め付けずに着用可能なジャンパースカートの2種を採用。誰もが自分らしく働きやすい選択ができるようになり、個人差を尊重する制服構成となっています。

さらに、こども用の100、120、140サイズを制作しました。検疫官の皆さんが着用している制服とまったく同じ作りの本格的なミニチュア版。各地のイベントなどで着用できる予定ですのでぜひチェックしてください。

誰もが働きやすい、個人差を尊重した仕様

検疫所 ご担当者さま より

Uniform Users Voice

この度、検疫所の制服は22年ぶりのリニューアルとなりました。

今回のリニューアルでは、「海と空の玄関口で、国民の健康を守る最前線」で業務にあたる検疫官が働きやすいよう、ストレッチ・軽量といった素材を利用することで機能性を重視したうえ、空港等を利用される方々から検疫所の職員であることが一目で分かるような制服のデザインとなっております。

また、リニューアルとあわせてこども用の制服も作成しております。全国各地で行われるイベント等で使用しており、こども達に制服を着用いただくことで、検疫所の仕事について興味を持っていただけたらと思っています。

リニューアルされた新制服で、これからも海と空の玄関口で国民の健康を守っていくとともに、多くの方々に検疫官の仕事について知っていただけたらと思います。

展示会情報 Working

Exhibition-Report

アイトス／Asahicho／ビッグボーン商事／アルトコーポレーション／辰野

2024/25年秋冬シーズンの新商品を紹介する展示会が7月に各地で開催されました。各社、猛暑や暖冬の影響から防寒着だけではなく、通年着用できるような商品を取り揃えている様子が見られました。加えて、軽く着心地のよい生地や環境配慮素材など多機能製品が並びました。



▲ アイトス



▲ アルトコーポレーション



▲ Asahicho

アイトス

ストレッチリップシリーズから機能性の高い新製品
経産省ガイドラインに基づいたCFP指数表示



アイトスは、今年から開始した環境プロジェクト「AOZORA®」の一環として、国のガイドラインに基づいたCFP指数と併せて新製品を展示しました。

「AZITO」の軽量ストレッチリップシリーズは、ブルゾンとパンツ2種を発表。二重織構造にすることで軽量感と強度・保温性を兼ね備えたストレッチ生地を採用しました。これらは、帯電防止規格JIS T 8118適合のため、電子関連の製造業やガス燃料系の業種がターゲット。

また新たに繊維由来原料100%の再生ポリエステル原料「BRING Material™」を使用したエコブルズンをリリース。エコマークが付いた、グリーン購入法適合商品です。

そのほか秋冬に向けたベンチコートや軽防寒ブルゾン、など幅広く取りそろえた秋冬展示会となりました。

Asahicho

食品向けに人気のポケットレスジャケット
様々な職種に対応した多種多様なユニフォームが展示



Asahichoは、ワークユニフォームからアシストスーツまで幅広く展示しました。

ブランドコンセプト「STANDBY WORKER」の通り働く人に寄り添う企画を提案。ポケットレスのジャケットを紹介。ポケットレスは特に食品向けに評判がよく、従来の綿・ポリエステル混紡生地のみならず、ポリエステル100%のストレッチ素材も採用されるなど機能性も進化しました。

「GORE-TEX PAC-LITE®」は従来の3層構造から2・5層になり軽量コンパクト化。タコイズブルーやカーキ、レッドなどのカラーバリエーションを増やすことで、ワークシーンだけではなく、日常使いしやすいタウンユースも可能となりました。

アシストスーツの「イージーアップ」は家庭用洗濯機で丸洗い可能、電源不要といった特長があり、一押しの商品となっています。東京ビッグサイトで行われた労働安全衛生展のアシストスーツ協会特設コーナーにも参加しました。

←NEXT : Office&Service

ビッグボーン商事

伸縮回復性のある主力商品を展示
猛暑対策商品を積極的に紹介

ビッグボーン商事は、洗練されたデザインと豊富な機能性が特長の「EARLY BIRD arno」シリーズの主力商品トップ3を展示しました。売上1位の「EBA196」は、JIS T 8118規格適合の制電機能付きジャケット。伸びるだけではなく伸縮回復性にも優れたストレッチ素材を採用しています。さらに年間を通して関心が高まっている猛暑対策商品も展示され、「AQUA TEC」のウォーターベストを紹介。水が気化するときに周囲の熱を奪う熱吸収と商品の裏側にナイロン素材を使った冷感素材で冷却しバッテリーや保冷剤を使用しないため290グラムという軽さが魅力です。電動ファン付きウェアと重ね着することで、風がウォーターベストの気化熱冷却を促進するため双方の効果を最大限に発揮できます。また、冷却ブレードと送風ファンで早急に体を冷やす「冷蔵服3」はアームホールと裾のゴム仕様が効率よく風をコントロールします。

アルトコーポレーション

従来商品を綿100%のストレッチ素材で提案
豊富なサイズ展開と機能性

アルトコーポレーションは、「TOUGH WORKING」から秋冬商品を展示しました。火気を扱う職場用に、新たにSCシリーズ3アイテムが登場。このシリーズは綿100%素材でありながらストレッチ率15%以上の運動性を実現しています。ブルゾンと長袖シャツ共に両胸ポケット、タレット端末も収納可能なファスナーポケットが付与。サイズはSから6Lまで展開しており、ECシリーズとのマッチングコーディネートも可能な点から幅広い需要に対応できる柔軟性が特徴です。

「ALPHAFORCE」では春夏秋向けの新商品を紹介しました。半袖ポロシャツの「24S102」は、優れた通気性と速乾性を保持した軽量ニット素材を使用。ポケットとナイロンテープで自由度の高い収納が可能な仕様です。衿と後ろ肩に再帰反射プリントが施してあり、視認性も考慮しています。

辰野

国際規格に対応した静電気帯電防止ウェア
新作に帽子と制電靴が並ぶ

辰野は前回に引き続き、静電気帯電防止ユニフォーム「ESD Guardian UNIFORM」の展示会を大阪・福岡・東京にて開催しました。ESDとは、Electro Static Dischargeの略で静電気放電を意味します。静電気関連の国際規格IEC 61340-4-19に対応したカラーバリエーションで、繊維を使用することで、静電気を適切に制御します。加えて新作の帽子と制電靴も紹介。

同社のオリジナルブランド「Ninos Fighter」の防災服を新たに自治体向けに定番化。nucの令和5年度意識調査報告書「自治体等における災害対策用被服の実態」を参照資料として活用いただきました。

同社は創業90周年を迎え、これまで紡いだ品質とお客様からの信頼を礎としてユニフォームの再資源化に取り組むとし、持続可能な未来を目指して100周年に向かう姿をPRしました。

Office&Service

カーシーカシマ／サーヴォ／チクマ／ハネクトーン早川／ボンマックス

オフィスサービスでも展示会が開催され、秋冬に向けたカラーや素材が揃いました。各社こだわりのユニフォームをご紹介します。



▲ チクマ



▲ サーヴォ



▲ ハネクトーン早川

カーシーカシマ

女性の活躍を支えるオフィススタイルを提案
華やかさと機能性を両立



カーシーカシマは「ENJOY」「Noir」「CAREAN」の新作商品をはじめ、アップサイクル実績などを紹介しました。

「ENJOY」のヌーベルモードシリーズは、「タイムレスに働く女性の活躍を応援する」がコンセプト。多様化する働き方に合わせて、オフィススタイルにトレンド感をプラスしたデザインとなりました。

レイヤードできるかぶりベストで、オフィススタイルをアップデート。生地は立体感のあるブリベラ織りを用いた繊細な表情のチェック柄を採用し、デザイン性を詰め込んだスタイルで働く女性の今を輝かせます。

クリーンスタップウェアカタログの「CAREAN」では、耐塩素加工の付いたフォーマルなデザインシャツやボロシャツが並びました。トップスは視認性の効果からアシンメトリーなデザインに。また、パンツに膝ダーツを施すことで脚の可動域を広げました。

サーヴォ

アミューズメント向けカタログ発刊
選べるカラーとサイズ展開で自分らしさを着る



サーヴォは、アミューズメント向けユニフォームカタログの「LAND」から4年ぶりに新製品を発表しました。（写真左）カノコポロシャツは繰り返し洗濯しても色落ちしづらく、型くずれしにくい。ため工業洗濯に対応します。また豊富なカラーとサイズ展開も魅力です。

オフィスの「GROW」では、意匠性のある表情が高級感を感じさせるツイードニットシリーズのジャケットとベストが登場。ふくらみと伸縮性のあるニット地が特徴の素材感とデザインは接客シーンにマッチします。好評のらくらくウエストをボトムスに採用した王道ピッチの新ストライプシリーズも展示。

食品サービス「Servo」の今年度発表した「ころもて」シリーズ。それぞれのおもてなしスタイルに合わせるデザイン豊かなシヨップコートやシャツが、高通気素材「AMIDDO®」で製作され、機能性の高い快適な着心地が持続する商品となりました。

チクマ

「魔法のウエスト」を採用した快適な着用感
新鮮なカラーと豊富なアイテム



チクマ「ALPHA PIER」は、秋冬コレクションのテーマを「With YOU 心地よくよりそう働・楽・服」とし、ユニフォームとしての親しみやすさを残しながらトレンドをほどよく取り入れたデザインが発表されました。ウールライクな見た目と、ストレッチ性にも優れた上質素材を使用し、ボトムスのウエストには特許取得の「魔法のウエスト®」を採用しています。内蔵された特殊なゴムの仕様が、見た目の印象を変えないスッキリ感と約10センチ伸びる快適さを兼ね備えました。「MARY QUANT」では、「BRITISH DIGNITY」のラズベリーとベージュのクラシカルなカラーと洗練されたデザインが目を惹きます。「Gentle Beauty」は幅広い職種に対応する多彩なラインナップで、クールさや美しさも着こなしで思いのままに表現可能です。

ハネクトーン早川

伝統色で和のテイストを表現
洗練されたイメージを演出



ハネクトーン早川の「Counter Biz®」では、おもてなしの心をテーマにした「和ころ」シリーズから第2弾が登場。伝統色である臙脂（えんじ）、錫色（すず色）、瑠璃紺（るりこん）をイメージしたカラー展開で上質感と気品のあるウェアとなりました。素材は品質と機能性に優れたリサイクル繊維を使用。空調タイプの素材と絹のような光沢のシャタンとの異素材使いが特長です。「フェミニンビューティー」の新シリーズは、モダンクラシカルスタイルがテーマ。従来商品よりもタイトなシルエットのワンピースとノーカラージャケットで組み合わせ自由。ブロックパターンが印象的なブルーとグレー、ベージュがポイント。また、ライトな接客向けユニフォームではチュニックワンピースやエプロンドレスが人気のようで、ゆったりとした一枚で着ることができるウェアも多数並びました。

ボンマックス

介護ウェアコレクションが新登場
「CAREシーンにもっとFASHIONを！」



ボンマックスでは、「ユニフォームサーカスビームス」ブランドから介護ウェアが登場。機能性や着心地はもちろん、配色やシルエットなどファッション性にもこだわったアイテムが7種類発表されました。こだわりの配色とトレンド感のあるオーバーシルエットが特長のバイカラーポロシャツと、優しい肌触りのダンボールニットを使用したポロシャツ。配膳などのケアシーンを想定したエプロンベストは、ベスト感覚で着られるエプロンで、マチ付きポケットの付いた高い収納力が魅力。オフィスカタログの「BON OFFICE」では、テンドーチェックのベストに、ポリエステル100%で高級感のある素材を使用したリズナブルな商品が登場。定番のチェック柄にベージュやラベンダーなどの優しいカラーを採用することで誠実さや信頼感はそのままに新鮮な印象を与えます。

Topics

島田商事

「THE 40th HiG-STOFF」開催 多様な用途に合わせた副資材を提案

島田商事は7月から東京・大阪のショールームにて40回目の展覧会を開催中です。今回はテーマを「Passionate」「Take Tech」「Sustainable」「S-Essential」の4つに設定。アパレルとユニフォームの間に垣根を作らずに、テーマに合わせた副資材の提案が見られました。

「Sustainable」では、ファスナーなしのポリエステル100%で構成したカジュアルテイストのスキージャケットが登場。ポリエステルにこだわったモノマテリアルに対応できる「MICROFLUFFY®」は、空気層を多く含み、崇高性、保温性に優れているアニマルフリーな中綿素材です。T.S.P.L.（同社が行う持続可能な社会に貢献するための活動）対応製品として、「SDGs: 15陸の豊かさを守ろう」のグリーンをポイントカラーに使用しています。また、RePETの糸と基布を使用した刺繍ワッペンやリサイクルポリエステルのグログランテープにエンボス型でロゴを施すなどの提案をしました。

「Passionate」では、ダウンルーム間に厚みと通気性のある隔壁を接着することによって空気の移動を実現し、空気循環により衣服全体の保温を促す「Air Circulation Down®」を使用したスノーボードジャケットが登場し、新手法の「4DLC (4D LASER CUT)」が取り入れられました。4DLCとは、垂直に凸出したウレタンワッペンです。従来よりも立体に表現できるようになりました。このジャケットも「MICROFLUFFY®」を使用しており、中綿によってたまった熱と湿気を外に出すバルブも搭載しました。



▲ Sustainable 「カジュアルスキージャケット」



▲ Passionate 「スノーボードジャケット」

ムーンスター

2025年春夏展示会を開催 「MADE IN JAPAN」で創業150年を迎える



創業150年を越えた歴史あるシューズ製造業者のムーンスターは、2025年春夏新商品の展示会を7月に開催。今回は「FINE VULCANIZED」、「810s」、「SKOOLER」、「HI-TEC®」などのシリーズが並びました。

「FINE VULCANIZED」では、オーソドックスなデザインにアクセントとして加えたソールのカラフルなグラデーションが特徴のスニーカーを展示。同社独自の技術を用いて2色のゴムの層で表現しています。

「810s」では、23年春夏シーズンに登場したリミテッドモデル「STUDENAERO」が810sの5周年アニバーサリーモデルとして復活。熱のこもりやすい箇所エアホールを配置することで通気性を向上させ、夏場の不快な暑さを軽減。サンダルとスニーカーの長所を組み合わせたスタイルとなりました。

大阪・関西万博の開催まであと半年 Topics プラス EXPO2025

2025年4月13日に開催を迎える「2025年大阪・関西万博」まで、あと約200日となりました。本誌でも、大阪・関西万博に関するトピックスをご紹介します。

今回は、1970年日本万博博覧会(大阪万博)当時の出展施設であった鉄銅館を利用し、同博覧会の記念館として万博記念公園に2010年にオープンした「EXPO'70パビリオン」から、企画展についてご紹介します。

企画展「1970年大阪万博 ユニホームコレクション」が2024年5月から2025年2月28日(金)まで開催されます。華やかなパビリオンホステスのユニフォームから協会職員、緑地管理係など65種80着を展示。また、コンペ出品作のデザイン画や関連資料・展示品が期間限定公開します。

普段は一般公開されていない貴重な模型や展示品、資料、映像などを見ることができますので、ぜひ訪れてみてください！



詳細

日程：2024年5月24日(金)～2025年2月28日(金)
 時間：10:00～17:00 (入館は16:30まで)
 場所：EXPO'70パビリオン ホワイエ (万博記念公園内)
 料金：常設展セット 900円 (企画展400円+常設展500円)
 企画展単独 500円
 ※中学生以下無料
 ※別途自然文化園・日本庭園共通入場料必要
 ※休園日・年末年始・別イベントの開催などによる休止がございます。詳しくは万博記念公園ホームページをご確認ください。



提供：万博記念公園マネジメント・パートナーズ

1923年の関東大震災から100年にあたる令和5年度は、災害発生時等に対応する職員等が着用するための「災害対策用被服」の実態を把握すべく、令和5年6月から令和6年1月にかけて、地方公共団体、医師会・看護協会等の職能団体、その他公園協会等を対象とした調査を実施しました。

この調査はSDGs関連調査と位置付けており、「11. 住み続けられるまちづくりを」や「13. 気候変動に具体的な対策を」をはじめとした目標達成につなげることを目的のひとつとして取り組みました。回答数は130件、回収率は46.6%となりました。

本誌では調査報告書の要旨をもとに再構成し、2回に分けて掲載してまいります。

NUC意識調査レポート

自治体等における災害対策用被服の実態(上)

災害対策用被服の配布状況とその背景

災害対策用被服などの有無

まずは「貴団体では、災害対応及び防災訓練などに職員、団体構成員が着用（全員着用／一部で着用いずれも含む）するための災害対策用被服がありますか？」として災害対策用被服の有無を質問した。

最多は『専用の「災害対策用被服」がある』で78・5%。『平常時兼用の「作業服」がある』の7・7%とあわせると、全体の85%ほどが、何らかの被服（ユニフォーム）を災害対応のために備えていることがわかった。【図表①】

現在の災害対策用被服（または兼用作業服）の採用年

前項で「ある」と回答した112件に対し、現行デザインの採用年を調査した。

最多は「わからない」の39・3%で、かなり前であるためにわからない、という声も散見した。次いで多いのは「ここ5年以内」の24・1%。その中では2023年に改正したという回答も3件寄せられたが、全体的に満遍なく分布しており、特定の年に多いなどの傾向は見られない結果となった。【図表②】

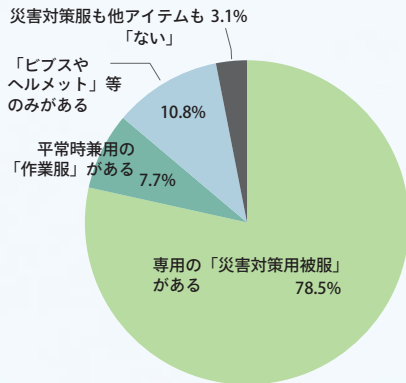
災害対策用被服（または兼用作業服）の配布対象者数

前項で「ある」と回答した112件に対し、配布（支給・貸与）対象となるおおよその人数を問いかけた。「1～50人」と「51～100人」の合計、すなわち「100人以下」がおおよそ半数にのぼるなど、配布対象者数は少ない団体も多い。【図表③】

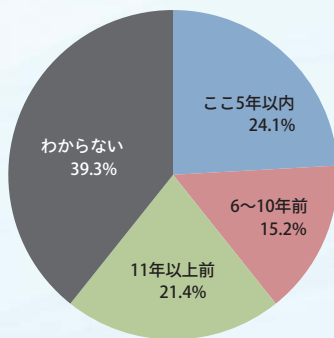
全職員数に対する災害対策用被服（または兼用作業服）の配布率

全職員数に対し、各団体が「災害対策用被服」の配布対象者数として設定している数を掛け合わせ、「配布率」を算出した。最多は「10%以下」で65・8%で73件だが、次いで多いのは「90%より多い」の14・4%で16件。なお、16件中13件は「100%に配布している」でその数量は数千規模から数万人規模まで幅広い。また、51%を超える回答はすべて「地方公共団体」からのものであった。【図表④】

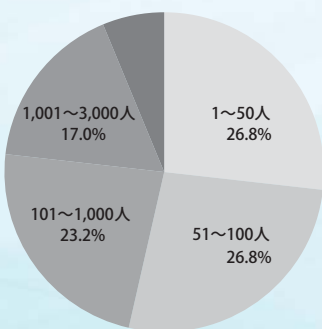
【図表①】 n=130



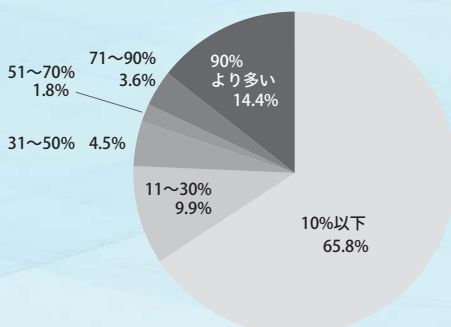
【図表②】 n=112



【図表③】 n=112



【図表④】 n=111



調査の目的

nucではこれらの調査結果により、今後の災害対策用被服の在り方を探るとともに防災意識の向上を図ること、新たな災害対策・防災用ユニフォームの研究開発に繋げ、国民の安全ならびに災害発生時等に対応にあたる方々の職務環境の向上に役立てることを目的としています。

さらにはユニフォームを「つくる側」、「着せる側」双方に対し調査結果の情報を提供することで、よりよいユニフォームの活用のために広く貢献することを目指しています。

報告書のご案内

報告書の抜粋版はnucのWEBサイトでも公開していますので、ぜひご覧ください。

報告書全文版（全72ページ）をご希望の場合は、nuc事務局までお問い合わせください。

特殊機能の有無と満足度

現在の災害対策用被服（または兼用作業服）に対する満足度

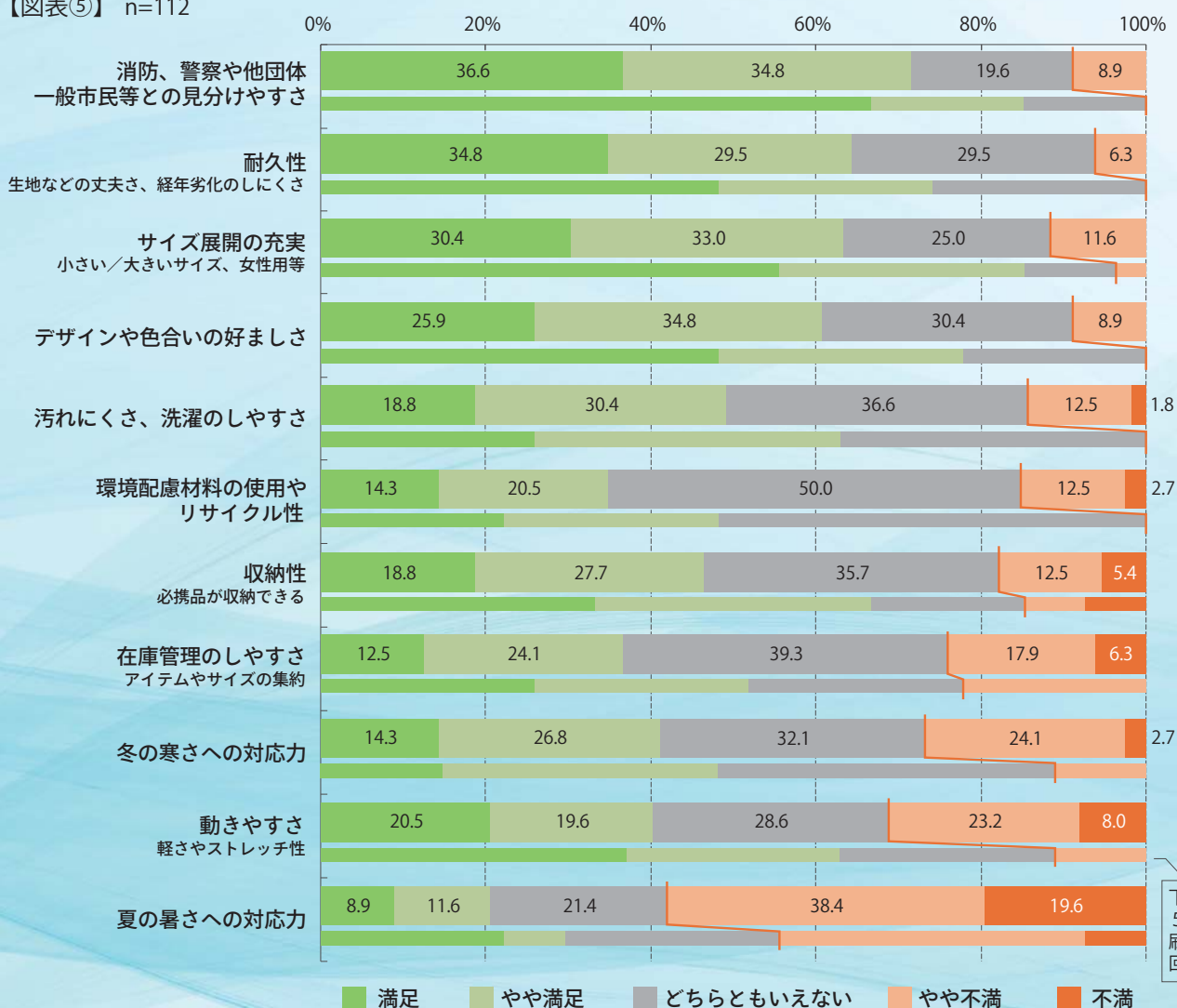
前項に同じ計112件に対し、現行品の機能性に関する満足度について、11項目ごとに調査をした。

下記は、おおよそ満足度が高い・不満度が低い順に並べたグラフである。上から4項目は60%以上の過半数が「満足」や「やや満足」と回答するなど、満足度が高く「不満」の回答はゼロであった。対して最も課題が多かったのは、「夏の暑さへの対応力」で「不満」や「やや不満」の合計57・8%となり、唯一過半数に達する結果となった。

なお、各項目の下に配した細棒グラフは、クロス集計により全回答との差が顕著にあらわれた項目である、災害対策用被服を「ここ5年以内」に刷新した回答を抽出し表示した。（数値略）

近年に更新された仕様であるためか、回答全数と比較して11項目ともに全体的に満足度が高く、不満度が低い結果となっていることがわかり、刷新による機能性向上等の効果が現れているものと推測できる。【図表⑤】

【図表⑤】 n=112



Topics

第10回 猛暑対策展

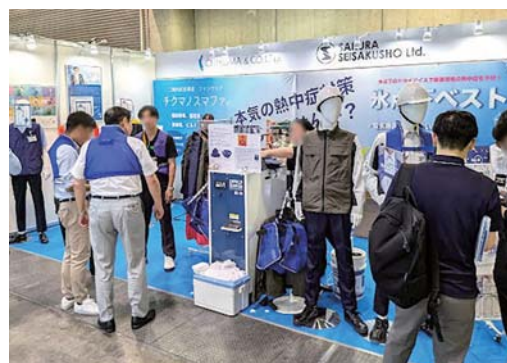
厳しい暑さを乗り越えるクールダウン製品展示

東京ビッグサイトにて行われた第10回猛暑対策展。今年は7月24日から26日の3日間開催し、同時開催の労働安全衛生展、騒音・振動対策展と合わせて約45,000人が来場しました。

近年、地球温暖化等の影響で厳しい暑さが続いているため、熱中症対策等の対策が重要になってまいります。酷暑化に対応するべく、冷却ウェアの多様化がますます進み、ペルチェ式ウェアのほか、定番の電動ファン付きウェア、水冷、冷却装置を組み合わせた製品などが揃いました。nuc会員各社が出展していた中で、今回は2社をピックアップして紹介いたします。

株式会社空調服からは、限定商品のウルトラマンとタグを組んだオリジナルの空調服®のほかコラボ商品や空調ベッド® 風眠を訴求しました。また、抱っこひもとベビーカーどちらにも使用できる2WAYの「空調ベビーカー™」を紹介。涼しさと便利さが網羅されたこのケープは、クールでスマートに子どもの夏の暑さ対策を実現できます。

チクマは、産業機械製造の株式会社櫻製作所と共同開発した-79度のドライアイスを使用する冷却ベスト「氷点下ベスト」を展示。専用のドライアイス製造機で作られた板状のドライアイスが血流が集中する脇下と首に収納するため全身を効率よくクールダウンします。電動ファン付きウェアの限界と言われている35℃を越える40℃の酷暑環境でも熱中症予防効果を発揮する画期的なウェアです。粉じんエリアや防爆エリアでも着用が可能で動き回る作業に最適です。



▲ チクマ「氷点下ベスト」



▲ 株式会社空調服「ウルトラマン空調服」



▲ ドライアイス製造機とベスト

反射材フェア2024

10月19日(土)・池袋サンシャインシティにて開催決定

反射材フェア2024（一般財団法人全日本交通安全協会/反射材活用推進委員会主催）が、開催されます。今回、ステージエリアでは「反射材ファッションショー」や「反射材ミニライブ」に加え、華やかな「反射材ダンスパフォーマンス」など、反射材の効果を一層楽しく、体験・体感していただけるプログラムとなっています。

また、服装の“見えやすさ”を診断できる「見えチェック」などの体験ブースや、拡大された「反射材用品販売コーナー」、反射材用品が当たる「巨大ガラポン」（ハズレなし）など、楽しい企画も好評です。

来場者の皆さまには、さまざまな反射材製品を手にとっていただくことで、反射材の視認性の高さや交通事故防止で重要な役割を果たすことが理解しやすい内容となっています。当日は白バイの展示や、警視庁のマスコット、ピーボくんが駆けつけ、一緒に写真撮影もできます。皆さまお誘い合わせのうえ、是非会場にお越し下さい。

日時：令和6年10月19日(土) 11時00分～17時00分

会場：池袋サンシャインシティ アルパB1階「噴水広場」



Theme : 帽子のデザインや儀礼について



有限会社オートモード平田

代表／モディスト 平田 欧子氏

平田暁夫の長女としてパリで生まれる
 1989年オートモード平田入社
 2001年デンマーク大使館にて平田暁夫とともに毛皮コレクションを発表
 2014年Akio Hirataのチーフデザイナーに就任 皇室関係の帽子も手掛ける
 2016年パリで個展「LE COUP DE CHAPEAU」（帽子がやってきた）を開催
 2021年福島県昭和村にて「HIRATAの帽子展」開催 からむし織を使って帽子を製作
 <書籍>著書「スタイリッシュ・クロッシュ」文化出版局2005年発行 等

nucは、「帽子のデザインや儀礼について」と題した令和6年度第1回nucセミナーを7月11日（木）にWEBで開催しました。今回は、有限会社オートモード平田の平田欧子氏を講師にお招きし、インタビュー形式でお話いただきました。モディストを目指したきっかけやパリ個展でのエピソード、洗練された帽子を生み出すデザインソース、着用時の儀礼など貴重なお話をさせていただきました。

セミナーではまず、平田氏の経歴をご紹介します。モディスト（帽子デザイナー）を目指したきっかけについてお聞きしました。「子どものころから父が帽子を作っている姿を毎日見ていたが、すごく手の込んだものを作っているのに報われていないように感じていた。大人になって他の帽子を触ってみると父のデザインや作り方へのこだわりと独自性に気づき、私がやらなかったら途絶えてしまうのはあまりにも勿体ないと思うようになったことがきっかけ。」と話しました。

続いて、帽子をデザインする際のインスピレーションとなるものに「素材」をあげ、風合いを活かした作品が多く、作っている間に新たなデザインが浮かぶことも多いと話しました。ユニフォームの帽子をデザインする際には、全体的なバランス・一体感を意識しているとのこと、遠くから全身を見た時にすぐにユニフォームを着ている（公式的な人）ことがわかる視認性も心がけていると述べました。

着用のマナーとしては顔が影になりにくく見えやすい方が安心感があり、頭をしっかり覆ったカジュアル過ぎないものが失礼に当たらない、フォーマルな印象になると解説。

また、ジェンダーレスデザインの帽子に関して「必ずしも男女で分ける必要は無いと思いますし人によって好みがあるのは当たり前なので洋服と同じように選択肢があってもよいのかな」と昨今注目度が高い話題についても触れました。

次に、ドバイ万博日本館アテンダントの公式ユニフォーム帽子のデザインポイントについて取り上げました。ユニフォームのコンセプトがしっかりしていて共通要素を帽子にするのに苦戦したが、最終的にスナップの留め位置を変えることで違う形に見える帽子の仕様になったと説明。帽子を2つ重ねるとハートの形になることもコンセプトの要素。

そのほか、パリ個展でのエピソードや帽子の被り方のアレンジ方法、今シーズンの作品のご説明などたくさんお話いただきました。最後にこれからについて「なるべく様々なデザイナーの方と色々なジャンルに取り組むことで自分にはなかった発想が生まれるため、積極的に関わっていきたい」と締めくくりました。



▲ 今シーズンの作品



Topics 1 ▶ 令和6年度ユニフォーム専門資格認定制度〈初級〉合格者発表

令和6年7月25日web形式にて初級資格認定取得のための講習会を開催し、8月に認定試験を実施しました。その結果、以下の23名が合格となりました。合格された皆さまのご活躍をお祈りいたします。

令和6年度 資格認定〈初級〉スペシャリストレベル合格者

会社名	氏名	会社名	氏名	会社名	氏名
株式会社京王百貨店	鐘ヶ江 徹	株式会社高島屋	長谷川 菜々子	株式会社白洋舎	伊藤 有里
株式会社京王百貨店	深水 二郎	株式会社高島屋	山崎 瑞季	株式会社白洋舎	磯部 勝博
株式会社武蔵富装	石川 基	株式会社高島屋	松崎 なつみ	ティー・エフ・シー株式会社	山下 真美
株式会社東武百貨店	飯田 牧子	株式会社高島屋	赤熊 ゆずか	中村被服株式会社	小林 志幸
株式会社ボンマックス	高木 一良	株式会社高島屋	奈良 晶子	中村被服株式会社	小谷 侑弥
株式会社ボンマックス	山田 尚人	株式会社高島屋	西 俊行	日本官帽制帽株式会社	吉沢 佳奈
株式会社丸福繊維	松波 聡史	株式会社高島屋	西 美恵子	TOPPANエッジ株式会社	伊藤 貴浩
株式会社丸福繊維	杉浦 大知	株式会社名鉄百貨店	山田 美和子	(敬称略・順不同)	

なお、次回令和7年度は〈初級〉に加え〈中級〉の実施年度となりますので、時期が近づきましたら近年の初級資格取得者の皆さまへご案内をさせていただきます。その他、受講をご希望の方は事務局までお問い合わせください。

Topics 2 ▶ 令和6年度第3回nucセミナー開催のご案内

nucセミナーを10月に開催いたします。講師は、昨年度「安全性と魅力を高める色の効果」をテーマに講師をお勤めいただいた一般財団法人日本色彩研究所 名取和幸氏です。皆様のお申し込みをお待ちしております。

■日時

令和6年10月17日(木) 14:00～15:30

■テーマ

色の心理効果の変化とブランディングについて

■講師

一般財団法人日本色彩研究所 常務理事／研究第1部シニアリサーチャ 名取和幸氏

■定員

30名

nuc 入会のご案内

nucでは入会を希望される方に当法人の設立趣意書や案内書をお送りいたします。事務局までお申し出下さい。

ユニフォームの生産および販売、服飾品、付属品関係およびユニフォームの関連商品の販売や研究者、また研究団体などにおすすめします。

ホームページアドレス <http://www.nuc.or.jp>

nucではホームページのバナー広告を募集しています。お問い合わせは事務局まで。

THE UNIFORM

第56巻4号／秋号 通巻604号

2024年9月30日発行

発行所 公益財団法人 日本ユニフォームセンター

〒107-0051 東京都港区元赤坂1-4-21 電話03(3401)2111(代)

発行人 藪谷 典弘

編集担当 高木 風湖／清水 徳子

企画・編集協力・印刷 (株)丸井工文社

定価630円 年間購読料2,380円(nuc会員の場合は、会費の中に購読料が含まれています)

本誌掲載の記事は、写真等無断複写、複製、転載を禁じます。

ユニフォーム相談窓口

当法人では、ユニフォームに関するあらゆる諸問題におこたえるユニフォーム無料相談窓口を開設しています。

お気軽にお電話下さい。

03-3401-2111

APPMTM

Apparel Parts Market



APPMは清原株式会社が運営する
アパレル向け副資材専用のBtoBオンラインサービスです。
どなたでもご利用頂けます！

清原株式会社

<https://www.kiyohara.co.jp/>

>>入場無料

The UNIFORM

2024年9月30日発行/公益財団法人 日本ユニフォームセンター

PANTEXTILES OSAKA 2024

日時：2024年10月30日(水)-10月31日(木) 午前10:00～午後5:00

会場：天満橋OMMビル2階B、Cホール(大阪市中央区大手前1-7-31)

- 最新のサステイナブルとファンクション素材
- ファイバー、ナイロン6/66、紙糸
- 織物、ニット、インナーウェア生地、フィルム、芯地
- スポーツウェア、作業着と紳士服/婦人服などのアパレルOEM/ODM
- ASEAN地域や中国に工場を持つ台湾企業

主催：紡拓會 台湾本部

☎ +886-2-23417251(担当：文) 内線2366

✉ takashiwen@textiles.org.tw

☎ 06-6614-9700 (台湾貿易センター大阪事務所)

☎ +886-2-23917712

🌐 www.textiles.org.tw

☎ 03-3514-4700 (台湾貿易センター東京事務所)

 Taiwan


Taiwan Textile Federation
紡拓會